

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年2月 5日

事業所番号	2772403016	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	有限会社 介護福祉協会	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム さち	評価調査日	平成 21 年 1 月 30 日
所在地	大阪府枚方市釈尊寺町3番38号 電話072-860-2200	評価確定日	平成 21 年 2 月 10 日

【情報提供票より】 (平成21年 1月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年8月1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数 18人
職員数	常勤 4人 非常勤 10人 常勤換算 5.6名

(2) 建物概要

建物の	木造瓦	造り
構造	2階建ての (1階～ 2階部分)	

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	50,000円	その他の経費 (月額 25,000円)		
敷金	無 ()			
保証金の有無	有 500,000円			
(入居一時金を含む)	償却 有 1年目以降は200,000円返却			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500円			

(4) 利用者の概要 (1月15日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	名
要介護1	4名	要介護2	3名		
要介護3	6名	要介護4	4名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢 平均	81才	最低	65才	最高	96才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人昭征会坂野病院 なかみどり細川歯科
---------	-----------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

昨年同様、職員の定着率は高く、安定した介護を実施している。又、職員はケア・レベルの向上を目指して研修にも積極的に参加しており、特に、利用者の生活状態に応じて、介護計画の作成・見直しを繰り返しつつ、最適な介護に取り組む真摯な姿勢が伺える。所内は、職員と利用者の意思疎通もスムーズで、アットホームな雰囲気にも包まれている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	利用者及びご家族との関係を重視し、一人ひとりに合った介護が出来るように配慮しているが月に1度、職員会議を開いて、研修報告や課題を職員全員で検討し、スキル・アップを図っている。又、鍵かけについては、今後も検討する必要があるが、玄関の階段部分に昇降機を設置することを検討している点は、利用者にとって外出時や災害時に有効である。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	自己評価は、主に管理者・ケアマネジャーによって作成しているが、職員も一緒に意見を出し合い、全員参加で検討して作成している。更に、職員への指導を含め、一度だけではなく気づいた時には繰り返し指導を行う姿勢が整っており、職員間の人間関係も良好である。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4. 5. 6)
	運営推進会議は昨年中、5回開催している。地域包括支援センターとの討議を年2回以上行い、地域のグループホーム連絡会にも参加し、日常介護における問題点等を話し合っている。開設当初からの利用者が多く今後、ターミナルケアを含めた検討事項を地域包括支援センターや、グループホーム連絡会で、逐次、提案していく予定である。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7. 8)
	ご家族アンケートでは、ホームに対し、特に不満という意見はなく、ご家族の訪問も頻繁にあることから、口頭ではあるが、希望や要望に答えるようにしている。これからは、電話及び口頭での希望や要望を記録として残し、個人ファイルに追加していくことにしている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	ホームとして自治会に加入しているため、回覧板等で地域の行事案内などの情報を得て、地域のいろいろな行事に参加している。利用者の外出もご家族の協力により行われている。

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	認知症高齢者の社会的孤立感の解消・心身機能自立及びご家族の負担軽減を理念とし、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者主体のサービスを提供している。		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の伝達については、朝の朝礼や月に一度の会議の中で職員に伝えている。		
2 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	ホームとして、自治会に加入しており、地域の行事の情報を得ている。又、年間行事予定表に地域行事への参加を明記している。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価開始当初からの課題であった玄関の階段部分に、昇降機の設置を検討している。		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	グループホーム連絡会には必ず出席し、地域包括支援センターや自治会の方々と連携を取っている。	○	連絡会の回数をできるだけ増やし、地域包括支援センターや、自治会の方々の意見を取り入れていただきたい。
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域交流会への参加や、地域包括支援センターからの紹介により、民生委員や薬局の方が訪問し、意見を聞いている。		
4 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	「さち通信」を毎月、ご家族へ郵送し、不定期ではあるが、手紙にて近況を報告している。又、ご家族の面会が多いため、口頭ではあるが、意見等を伺っている。	○	出来るだけ、ご家族の意見を記録に残し、職員全員で情報の共有を図ってください。
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月に一度の職員会議には、全員が参加し、ご家族の意見を話し合っている。運営推進会議にも参加し、外部の意見を取り入れている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		<p>研修記録を整理し、報告書を作成してください。また、職員のレベルアップを図り、一部の職員のみ、負担がかからないように配慮してください。</p>
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		<p>ご家族とよく相談した上で、個々に合わせた処遇ができるように努めている。</p>
--	----	----	---	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		<p>利用者との対話の時間をたくさん取ることにより、職員と利用者との深い関係づくりに取り組んでいるが、常に尊敬の念を忘れず対応している。</p>
--	----	----	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		<p>「本人の夢を叶えよう」という企画を実施し、利用者の希望する外出・外食・買い物等を実施している。ご家族とも相談し、より関係が密になってきている</p>
--	----	----	--	--	---

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		<p>ケアマネジャーが作成する介護計画に、職員の意見やご家族の希望を反映している。</p>
--	----	----	---	--	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的に介護計画の見直しをしているが、更に、利用者の状態によって随時、介護計画の見直しが行われている。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者及びご家族の意見や要望に対して、口頭ではあるが柔軟に支援をしている。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	協力医療機関との連携を図り、職員だけで判断することなく、主治医の判断を必ず仰ぐようにしている。		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在、終末期に該当する利用者は居ないが、今後、研修などにより知識を得る取り組みを検討中である。	○	ターミナルケアについては、本人やご家族の意向を聞き、又、職員間の不安があれば解消できるように研修や、他のグループホームの取り組みを、参考にするよう努力していただきたい。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	個人を尊重し、社会生活が豊富な方であることを職員に理解させ、馴れ合いの関係にならないよう努力している。		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の申し送りにおいて、一人ひとりのその日の状態を把握し、楽しく過ごせるように配慮している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の機能を活かすよう、おしぼりやお茶の準備など、本人の希望により手伝っていただいている。月に1度、日曜日に利用者と一緒に食事作りもしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>曜日は、ほぼ定めているが、朝から夕方までいつでも、入浴できる体制が整っている。又、本人の希望により、入浴日以外でも対応出来るようにしている。</p>	

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者が、何かしたい時に、したいことを、していただくよう努力している。月に1度のイベントにも参加してもらうようにしている。</p>	
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>月1度の外出に加えて、ご家族の協力を得て、出来るだけ外出してもらうように支援している。</p>	

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>1階の玄関、2階の入口は、建物の構造上・安全性を考慮してやむなく鍵を掛けている。</p>	○	<p>安全上、施錠はやむを得ないが、施錠の際の音が不快に思われる可能性があるため、配慮していただきたい。</p>
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>民生委員を通じて、グループホームの見取り図を消防署等に配布し、緊急避難の際の参考にしてもらっている。</p>		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者の一日の水分・食事摂取量・排泄などを一覧表にし、職員が常に把握できるようにしている。</p>		
--	----	----	---	--	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内に光がたくさん入るように配慮し、利用者が集まる場所は特に明るくしており、気持ちが良い。又、加湿器により感染症対策にも、きめの細かい工夫をしているので、利用者の方々は満足している様子であった。</p>		
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者は個々に、使い慣れた家具を持ち込み、快適に過ごしている。畳を希望される利用者には、ベッドではなく畳を使用する配慮をしている。</p>		